

あしただ

令和7年10月15日発行

現在会員数 247名

男性 132名

女性 115名

(R7. 9. 30現在)

題字：雨宮博雄

編集・発行 公益社団法人八丈町シルバー人材センター

〒100-1401 東京都八丈島八丈町大賀郷2551番地2

TEL. 04996-2-4666 FAX. 04996-2-5355

E-mail hachijo@sjc.ne.jp

URL. <https://www.sjc.ne.jp/hachijo/>

理事会開催報告 9月18日(木)午前10時から、八丈町役場大会議室において「第5回理事会」が開催されました。主な議題は次の通りです。

1 承認事項

1) 会員の入退会について

入会5名と退会2名について承認

2) 職員給与規程の一部を改正する規程

文言等の修正について承認

3) 令和7年度収支補正予算書(案)について

原案通りすべて承認

4) 安全管理委員会の会員委員の選任について

原案通りすべて承認

2 報告事項

1) 令和7年7・8月の事業実績について

7・8月ともに対前年度比で契約金額は減となったが8月配分金額は微増の状況を報告

2) 歴史民俗資料館の受託業務予定の内容について

10月リニューアルオープンの資料館の業務内容を報告

3 その他

1) ボランティア活動について

社会福祉協議会のバザー事業への協力に決定

2) 事務費及び配分金の改定について

事務費見直しと来年度の見積りに反映させるよう作業を進めていることを説明

3) Tokyo シルバー50周年フェスについて

内容等について説明

4) 令和7年度普及啓発用品について

今年度のPR品(入浴剤)について説明

就業会員募集!

●歴史民俗資料館 他 公共施設等の清掃

就業希望・興味のある方は
事務局へお電話ください



電話 2-4666

広報委員会開催報告 9月18日(木)午前9時20分から、八丈町役場大会議室において「第2回広報委員会」が開催されました。主な議題は次の通りです。

1 委員長・副委員長の選任について

委員長に伊藤宏氏、副委員長に高橋基秀氏を選任

2 広報・会報・チラシの配布について

掲載記事について説明

3 啓発用品の配布について

今年度の配布先・数量について説明

4 作品展について

作品展受付の協力を委員に依頼

5 その他



安全管理委員会開催報告 9月24日(水)午前10時から、八丈町役場第2会議室において「第2回安全管理委員会」が開催されました。主な議題は次の通りです。

- 1 委員長・副委員長の選任について
委員長に浅沼功氏、副委員長に青木保憲氏を選任
- 2 令和7年6月～8月までの事故報告について
事務局より事故4件について報告
- 3 安全就業標語の選考について(八丈町独自のもの)
34点の応募作品より最優秀作品2点を決定
- 4 その他について



<安全就業標語> 決定しました！

テーマ1「安全就業」 **町健診 現状維持の バロメーター**
中村 則子 さん
テーマ2「自由テーマ」 **一つの輪 目くばり気くばり 思いやり**
大沢 美智子 さん

ご応募ありがとうございました。標語は、会報に1年間掲載します。

募 集 し て い ま す ！

会員クラウドサービス 利用研修

研修日

10月20日(月) 13時30分～
10月23日(木) 13時30分～
10月29日(水) 13時30分～
10月31日(金) 13時30分～
11月25日(火) 13時30分～

場所：八丈町役場第2会議室
(センター事務局前)

昨年度受けた方も大歓迎です！
まだ間に合いますので、お電話くだ
さい **電話 2-4666**

手作り作品展

開催日

11月18日(火) 9時～17時
11月19日(水) 9時～17時
11月20日(木) 9時～12時

会場：八丈町民ギャラリー

作品募集 10月31日まで
申込方法 お電話または事務局へ
お越しください

まだまだ作品を募集しています！
出品された方には粗品を進呈します

八丈島民の太平洋戦争 — 「強制疎開」の体験—

1945年(昭和20)10月4日午前10時、450余人の八丈島民を乗せた東海汽船の貨客船「桐丸」531トン(戦中は海軍で対潜水艦作戦に従事)が神湊港の沖に停泊しました。船内は「引揚げ」という名の「強制疎開」で島を離れた人びとの帰島の喜びと、悲惨で屈辱的だった疎開中の記憶がよみがえる複雑な気持ちがあふれていたに違いありません。八丈島の戦史を特徴づける「強制疎開」についてまとめました。

1944年(昭和19)7月10日、島民全員を対象に疎開命令が突然出され、島は大混乱に陥りました。実は6月にサイパン島が陥落、米軍はテニアン島に襲いかかり、本土空襲が現実味を帯びていました。すでに小笠原諸島への移動がむずかしくなっていたこともあり、陸海軍合わせて16,000余の軍人軍属がこの島に留まることになると、食糧と住居の確保が差し迫った課題になりました。三根・中之郷・樫立の国民学校は軍に接收され、民家で分散授業が行われるようになりました。「働ける者を残し、邪魔になる者を疎開させる」という軍の方針が伝わると、島民は住み慣れた土地や家を捨てて見知らぬ土地での暮らしを想像し、不安を募らせました。

7月15日午後8時、約2,000人が「自由疎開」で昌元丸(4千ト)に乗船しましたが、折からの暴風雨でそのまま沖待ちして、17日午前6時島を離れました。これを第1回として翌年7月までの間に、東京都内をはじめ長野・山梨・群馬・栃木・茨城・千葉・神奈川などへ1,333世帯、5,856人が集団または縁故により疎開したのです。これは当時の住民の7割に相当します。

集団疎開は、八丈島5カ村村長の要請《①学童1,500人は集団で、②一般島民は集団疎開とし、農業が続けられるように土地・住宅・資材の斡旋、③牛約2,000頭の軍による買取等》に沿って東京都の斡旋で進められました(ほかに「縁故疎開」もありました)。

疎開船の就航は18回(17回の東光丸は御蔵島沖で沈没、約120人が犠牲に)。横浜港や芝浦港に着くと、しばらくは福祉施設などで生活することになりました。板橋の施設で空襲に遭い、島から持ち出した大切な荷物を焼かれたり、黒こげの遺体を目の当たりにするなど、心に大きな傷を負うことになりました。

201世帯1,143人が向かった長野県軽井沢町は浅間山の東南麓に位置する高原の町で、大正時代から堤康次郎率いる箱根土地が観光開発を手がけた所です。45年4月5日朝5時ころ八丈島民を乗せて上野駅を出た特別列車は春たけなわの関東平野を北上、碓氷峠を越えて8時ころ軽井沢駅に着きました。南軽井沢別荘地までの、雪の残る4⁺程の泥んこ道はこれから始まる疎開生活の厳しさを予感させるものでした。食糧増産のため開墾に歯を食いしばり、空腹を抱えた子どもたちに少しでも食べ物をと出かけた買い出しではどれほど悔しい思いをしたことでしょう。八丈から持ってきたわずかばかりの財産が消えていきました。

町の学校までの通学が不便だからと「八丈学寮」が開けられました。「教室はおろか、最初のうちは黒板も机も椅子もなかった。児童も教師も競馬場の地べたにすわって、文字通りの青空教室。教師は地べたに棒切れで字を書き、児童もその字を棒切れで地べたになぞった。」と当時の関係者が『八丈島誌』に回想を寄せています。

8月15日、日本の降伏を知った時の思いは複雑でした。悲しみ、落胆そして不安……。そのうちに、「これでやっと島に帰れる」といううれしさが少しずつ湧いてきました。

9月になって疎開者に届いた「希望者は帰島出来得る」旨を伝える文書には、「八丈島に残る軍関係者の復員計画にあわせるので、引揚げ時の荷物は帰島後すぐ必要な炊事、寝具、勝手用品や日用品、農具等のみ携行しその他の荷物は『マルツウ』(日通)を利用し伊東駅留めで送ること、帰島者は必ず5日分の食糧を携行すること、帰島に要する費用は各人の負担」などが記されていました。年末までに天海丸・高千穂丸・第三天海丸・橘丸が11回就航し、強制疎開命令に従った島民1,476世帯、5,853人が島に帰りました。

疎開の経験は、時期や疎開先によってさまざまでしたが、経験者は一様に「はら、戦争はよっきゃ!」という思いを深く胸に刻んだのでした。 伊藤 宏

東光丸殉難者慰霊之碑
(八丈町末吉・台ヶ原)



令和7年度事業実績							
月	区分	受託 件数	就業延 日人員	契 約 金 額			
				配 分 金	材 料 費	事 務 費	計
9月	公共	41	1,567	9,408,528	406,291	882,337	10,697,156
	民間	24	137	701,447	26,577	79,872	807,896
	計	65	1,704	10,109,975	432,868	962,209	11,505,052
累計	公共	250	9,381	56,126,173	2,824,904	5,174,852	64,125,929
	民間	139	924	4,915,686	190,117	503,641	5,609,444
	計	389	10,305	61,041,859	3,015,021	5,678,493	69,735,373

9月末会員数 247名 就業実人員 135名 就業率 54.7%

会員入退会状況(9月分)

入会者 よろしくお申し込みします
男性1名 女性2名

退会者 お疲れさまでした
男性1名 女性2名

就業相談のお知らせ(要予約)

日時 11月17日(月)午後3～5時
場所 八丈町役場第2会議室
申込 お電話ください ☎2-4666

上記の日時の場合は予約が必要ですが、何かありましたら随時事務局までご連絡ください。

原稿募集



会報掲載用の原稿を大募集！

詩・短歌、写真や絵など、内容は自由です。事務局までご連絡ください。

電話 2-4666

担当：福田

事務局より 来月の配分金支払日は、
11月14日(金)です。

システムの都合により11時以降の振込になります。ご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

